

(1) 各国の労働者、被抑圧人民は团结せよ

NO.
15

卷之三

1972
1-10

東都レー二研究会 政治機関問題組

定価
30円

日本生産主義運動150年の歴史を語る 7 7年の歳の金成果をかけて「72年祭」 一歩踏み出せば、壁の一大改革にはまる。

後進國連盟が結成した全世界人民の革命的進歩をもたらした「日米共同声明」は、日本の兵士後半から頭在化した「戦後世界」の構造は、米帝を中心とした帝国主義支配体制の大再編をよびなぐらせた。69年「ニワソンドクトリン」「日米共同声明」を契機にしてつづき開始したそれは、米帝を中心とした帝国主義支配体制の大再編が最早押しつぶれ難いものであることを明らかにしておる。そして、本年一九七一年に再編期の結果として全世界の大半を掌握するに至った西側は、それを示すわれる大歎息の甘んじて幕を開けたのである。

日本は「クノッペルの三つの原則」には關係しないが、「中國代表問題」で日本人民が被虐招請は、全世界人民の革命的勝利に局を以て、米帝を中心とした「財政支配体制」が崩壊に類して急速に一つ一つ一層大きい余地もなく大衆的に解説されるに到つておる。ブリショワ新聞すら「ニワソン声明は米国と西側の核の力の破綻の結果であつた」と(一八〇十五回)等表示して、「ニワソン」新経済政策は中国の力の力の結果であつた。(一九七一年四月三十日「毎日」)と叫聲するあつやあつで「世界の主導権は西側であつて東洋は西側で伝授する大衆の確認である。

一九六七の由さ、自らの命をかけて死んで固める一方、完全的ないは還して再開したものの「勝利的成果はあまりならぬ」たゞその帝国主義は吐露し、そのなりふりかまわぬ相異別した姿を演じほつにしておる。そしてこの「大陸」は全世界をまたの日本軍事の脅威に生れ出る結果となり、米国曰くおいても大規模な反撃作戦を実行せざるなど隨級五年の新たな高橋を不可避としたのである。

イングランドに於ける戦いは、カーボンアで国道の幹線を中心として半島のハロ%を

掌握し、ラオスで北部チャイ-平原に續々軍部本拠地を構築する。そして更にこの進撃はカイライ軍のみならず米帝軍の解体へつゞき進み、昨年一年間で南ベトナムにおける米帝軍隊内叛乱は上官爆殺だけで四五名に登つてゐる事が伝えられてゐる。

一九七二年は一のような年として明けたのである。すなわち、全世界人民の革命斗争の更なる前進が、帝國主義の侵略による革命運動を全面的に挫折に追いつめ、主戦場を西国主義心臓部に切り開く新たな発展段階への移行期であるのだ。

一のような歴史の転換期にあって、当然のことであるが、日本階級斗争を血みどろの惨躍をとつしても遂げなければならぬ日々を迎えていく事を是非とも銘記してあるねはならない。

日本帝は本年の組織施政権を廃し自衛隊の派兵に付づ名乗じて、帝国主義としての侵略反革命を全面的に開始せんとしている。確に田原せ日本反革命同盟の依持強化にのみ自らの運命を賭けたものと見えないし、その田縄強化の過程は二つとも一層の不運を深めてしている。しかし、帝國主義国家権力の中枢でありながら敗戦帝國主義としての政治的脆弱性を露骨に、てきした自衛隊力・組織派兵と血氣防により而國主義徹底して造成する事は戦後日本を興奮する事人々の権力再編である。一九七二年に附いた日本国内再編は不可避で、未嘗者の規模であつゆる領域での階級斗争を烈めさせたし、昨年の沖縄协定を以てのヨーロッパ西通り激引こしてヨーロッパれた。ヨーロッパ未嘗者悲しまれべき飛躍に直面するのである。併々木「共産党」反帝民主義に所側自衛隊の利益を充て渡して北ベトナムへの道を開拓せんとする所と、特に「新鋭自衛隊力」は以上の立派を表すべきが、其の革命的左派の主張は主義的傾向を表裏裏くはらずと對反右派的体質である。

第十一回 沖縄派兵実力阻止
（26） 同士一行動
1/15 全関西労学統一行動
(1) 神戸入管引田
(2) 神戸市役所前
1/19 学費値上げ阻止
沖縄派兵実力阻止
（27）
第2 全京都市学生統一行動
それは「搾取の危機」である事を深く自覺する。
今年は日本共産主義運動の五〇周年を迎える。世界革命の新たなる前進に躍進しつつある。昨年の潔打の全成安事件で、これ七二件のヨリを日本における舞起一勝利者権力樹立に向いた一大金剛塔にそのままの態に是非とも早急に、一の左翼反対派的体質を払拭し革命運動の大道を歩むねばならない。日本共産主義運動の最も深刻な部分を引き寄せた眞の地下労働者党を生むだけの出来事もあれば、日本革命の勝利は全く疑いなし。

総理會議が開かれた「二年」¹⁹³³春、ソ連は「リーリー」の反動的手段であった。わざわざオーニードン・ヘンリイに「田中事件」の危機的現実を前にし、ソ連は利用しつつ「米中」の共存を取りつけて新たな世界反帝節制の形成を図ることである。オーニードンは中國政策に一定の「懐柔」を以て「米中」の合意、「七ヶ日提案」への回答を回避し、時間をうねぎながら「ベトナム政策」の遂行の突破口を見せんとしている事である。

じたゞじーの「クソ」¹⁹³³話では米帝にとって我が身に「かづかる」「西支の倒」であった。中国政府、中国国民党の「クソ」の期待するような「米中和平共存」、「大国」の政局によるインシア問題の解決、「全意のとく」と思えられる根拠はないはずの、「それを既に構成的なる「外交」攻勢を展開して」いるのだ。一つした田中未帝は外へもの狂いで新たに帝国主義支配体制の確立をすんとし、その範囲固めの「東洋」各國帝国主義との区争を亟亟強化し、無事的に内外の問題をかき飛ばす。これられる事になんと大儀和奉上場を確保してしまつ必然なのである。一方、ソ連は「全意」においては、開戦敗北に規定された政治的後退にまで「七ヶ日提案」を駆け入れて困難な状態に落ち込んでいたので無理矢理田中断して新たな支配体制確立まで時間を作らせるとしてこののは明白である。

それでせ、二つした田中未帝の「一年」に體ける田舎調とは何なのだが。

田中未帝にして「アジア」¹⁹³³におけるわれわれの立場を以て重要性を位置づける「アジア」を中心とした田米反帝同盟問題の田中編成、田中未帝反帝体制の強化は田中未帝にとって進歩の力、キヤウ、でないと理解につぶやく。それ故に「アジア」¹⁹³³の重要性は一貫して新たにアジアへと債務反帝帯を開始せんとする田中未帝は、その頭から重大な困難に

真面目にして、「日獨同盟」は連合共和国に
しては非難の対象とせられてゐる。米英の外
に於ける政治的結託は政治的結託の形で反
對する体制の眞偽に於いて、日本もハーリン
大統領演説を以てしての眞偽を主張する前
進との眞偽からして、本然たる事ではあるが、は
なづくとして云ふ。それで、その無能政治
の「終焉」としたのは既に日獨同盟の「日獨
連合」に隨分關係は薄いものであつて、近海
の「國際的孤立化」が進む中で近海の中國水
路を決済する事の無いハーリンの眞偽を
論議する點で、實に問題となつてゐる。國
内に、ハーリンは眞偽とも共闘しならば何
なるのは、折終に解消である。其處の優劣記
述の件は、實に眞偽を以てしての眞偽を眞偽
化を以てしての眞偽を眞偽である。財
戰國主義といふのは日本政府の特殊として
軍隊を以てして政治的結託の形で反對する
體として云ふ。「和平と民主主義」の「體」で而
み込む事なし、眞偽と分离して、眞偽を眞偽
化を以てしての眞偽を眞偽である。財
戰國主義といふのは日本政府の特殊として
平和と民主主義とがなく一括でないが、日本
は「日獨連合」を除くへと見えて上行、經濟的政
治的的政策を實行して、日本政府は、これは「米
英の眞偽」の「眞偽」を該行し、米英の眞偽
から「ハーリンの眞偽」を該行する事で、新しく世界社會への眞偽となる。眞偽は「米
英の眞偽」の「眞偽」を該行し、米英の眞偽
を猶豫なく眞偽として發揚するに相成る。
その眞偽は、國政の終結する眞偽と、眞
偽は「眞偽」、「國政の終結する眞偽」と、眞
偽は「眞偽」である。

三、日本階級斗争の現 局面と我々の重大な 任務

最初に内閣府組がつて、内閣府本部の事務局
便に付しての事務局に付いた内閣府回行會、低賃
金の採取体制に抗して、昨年で正行組を結成
し、貢上手、切過取扱手等に賛同してやれ。
資本本部暴力団、江湖派、カードマンを養へれ、
マサニエの政治経営團と一体として組合運営し、
萬々の組合で、わが立派の運動を行つてこの
が、我らはなるべく内閣府本部の事務局に付して
事務の仕事、新規の取扱手等の運営を行つて、内閣
府本部の事務局の運営を行つて、内閣府本部の事務局

（角25）日午後一時より教養部A-3教室にて、内閣建設省務所労働組合、全港運輸業労働組合、東都工場労働者行動委員会議、ゼネラル石油労働組合等の労働者、工芸徒、現代中国研究会の學生の集会で、「中小企業労働運動の潮流形成にむけて」のシンポジウムが開かれた。主な討論者は、労働問題の専門家たちである。その討論についての報告を取次、そして全体と回題點などと評論した。

大體のリアルな政治生態と題名付けて、武装組織やハート・團體への傾向である。現在一つのヌーハー・王室的傾向が在る。また、西アフリカを表す「群島に敵対する臣民」は、政治上複数の路線と併存する「複数の王室」の路線である。これが西アフリカの複数民族的傾向の典型である。が、西アフリカの複数民族的傾向と並び、政治的統一争いと大競争場を堅持して、既定の大競争場で争い、「アーリー・アーリー」と互戦できれば、それが最も大切だ。もじって「アーリーの王室」東洋では、封建領主の把下方衛生政策へと移行していくばかりか、東洋では日本陸海の終活圓として今年の祭

革命的前進にて、いよいよ敵本部のものとなり、我々の國にして、一のひみつが砕け散らなければならぬ。又、二田園中を悉く碎く事にあつて、第一期十萬石の御一門をありし、おれが元後の敵本部の御一門に逃げこむのである。若者御酒流を新田園主御譲りの御酒流である。田園主御酒流

（この集会に、結集されたものは我々が北大
学の部隊に於し、本院が其隊に従事せらるゝやうな事、
東中において、私服數十名が、突然おこなは
れ、我々の同志一名を不當に殺された。）

劍失公店赤儿百〇

金本位に入つて、日本企業の行動範囲は、
おどろく速度でとじて、政治的影響を及ぼす力の強
度的伸びがはじめて現れる段階である。それでそ
れに並び、政治的影響力を持つ力もあるが、政治影響
力、暴力、内閣、マーケットなど、たゞこれら
の手段を用ひ、組織しづらうの理由は、日本
はこの点、いかにも差違點が多い。たゞ、一派は
ひいては國の威儀といふが、日本企業のむけに
して、組織化してこそ其効果が正側面に多く
あらわるが、そのため組織化なり重きに地区
における貿易、輸出との結びの日本が持つ
にあたるの立場、輸出との結びの日本が持つ

一制現

一月一〇日 開う意志 第15号

不當逮捕は弾圧をはねのけ
天罰は正至地服用を阻止せよ

我々は昨年の暮に、二重塙に越冬陣を送り、現体制を強化し、ISI、IATAの両方の体制を構築して来た。以下に、その報告とする。

青行らに付ける。不
当逮捕を許さぬ。

四千メートルを越えて
路第一期工事を粉碎せよ。

「西田君は、三人の機動隊を殺し、多くの連続殺人を殺さうとしたのであるが、そのためには他の連続殺人者を殺さなければならぬ」と、西田の政治小説『連続殺人者』の序文を引用して、西田の死因を説明する。西田は、連続殺人者を殺すために、連続殺人者を殺すことをやめないと、自分自身も殺されると、心に決めていた。しかし現実社会では、連続殺人者を殺すことは、西田の死んでしまった。

四十メートル二脚形船艤の間に金物を置いた際
縮み水、新東洋国際空港にての所仕留地にて
でござつてこの。しかも一期工事終了にて
せかれては同様地と離隔地にて、モダル
、改めて田舎にて水を貯蔵し如何でなく
いじつた。其同様地にて故不川明治同門訓
委嘱され、青行の三間屋のみ眠つており、小三
間屋は死んでゐる所以と嘆言してこの。其
中千人四面開口のドア一箇、しかも外側後
に計りて同門以上に決意してこの。また
一層斜めイタライの敷設に対して同屋以外

○。此處無事，但有此一念，即生無量功德。

卷之三

ボルシツク通信
研究会
理賃農業技術

在庫有り。

11.19 三全の事後逮捕

卷之五

大阪府某製紙会社の事後逮捕として我々同志の名を不當に奪いついた。これは全くの証拠なしの下ッ子ナガヤであり、とにかく一名の学友に対しては、任意同行という形で連行し、あとで逮捕状を発行するところ不當なものであつた。まことに新報道において、様々な

武装斗争をあつて政治的核にして銀で支えようとする
ナシヒコにつけ加ぬめめりやせうた。」
「海上、忍耐した權力せ、狂氣の彈圧を廢
却し、凶名の暴後遺漏を行ひ、再び彈壓を
行はおつとしている。それじかして庶民の未
ヘル、じつわ我じが組織を組織的に構成し
うとしている。海中も、同時に刀口譲る無慄を通
してくる。我江戦線は彈圧とはねの力のみ
つゆる体制を整えてこの。巨額の保険金を必
要となつてこのので、全ての詮君が丘御的な
ハーナルスル」とを語えや。

レーニン研究会理論叢書
ボルシチマイアハ通信
第5号

1. 攻撃の意義と目的

一方、一五〇四年大蔵方の提出した「新井洋
度予算案」において國立大蔵の所持財産額
上に「銀鑄幣・佐藤路貢賜の銀印折衝
銀引」が注記された実施されこととしている。
我々はこのあらたな集金法を改進するに於
ては國と相談せねばならぬ問題」、オーテの内
白井未少し二十六。

現在、園芸社員、花園大尉、龍石太郎、西人領事などは皆田舎上大尉の教誨不滿の上に決起され、政治運動の鉄の鼓舞に於して大尉は國家權力、ガーデン、ニードルズの庄税、外務本部へと上りて全面抗議して、さしやかに官吏の職務の過誤を指摘して、改進を命じること。既に园艺社員は生産者として無能視され、ニードル、ハーナー、アーヴィング、ホーリーの藝術で以て、庄園的技術を七八十人以上いる。

ヤーにて種類別に路線のよつとめが、かつ
つ効果的な国策である。すなはり、大學と國
家、名企業のひとつき運営が、いふんから
、目的的大化、理系系の教育などに至れ
てしゆゆうに、太字の、而國主義を主とする
「技術屋」あるいは「労働トナ官」の田生産
工場化の推進にほかならない。

オニーによる、むじ裏裏一体の資本主義的奴隸
思想による教育、排斥主義の思想である。這
反教育や反戰教育はむかづく、日教組もむちも
か排斥され、(漁生家)に「期待される人間
像」や、侵略戦争を美化する歴史教育や、差
別教育が日本強のつてつて。やつて、朝鮮
学校に対する規制、「外国人学校禁令」の

② 教育の帝国主義的
再編の一環としての
学習組上り

全日本運動の成績を更に発展させ、苗節的學生運動の巨大会潮流を形成しよう。

The image shows a vertical column of Chinese calligraphy in seal script. The characters read "集思廣益" (Jí Sī Guǎng Yì), which translates to "Gathering thoughts and broadening benefits". To the right of the calligraphy is a red square seal.

③学年運動の庄役、
学生の管理就休用
の重要な強化として
の努力を旨上にげ

(3) 学生運動の活性化、
学生の管理と休憩制の更なる強化として
の評価値上げ

(4) 住田中内閣の賃金上昇 政府の皆日本

